

# ひとつづくり委員会 事業計画

ひとつづくり委員会 委員長 石井 孝彦

近年、外出やひとと会って話す必要性が低い時代へと変わりはじめ、交通事故件数は年々減少傾向にあります。心無い事故の割合は減っておらず、今の日本人は諸外国と比べ自尊感情が低いと言われており、命の重さや友愛を考えることが大切です。安心安全に住み暮らすまちを想い、交通事故に関する道徳心の向上とメンバー同士が顔を合わせて同じ目標に向け時間をともにし、ひととの関わりの重要性を確認できる機会の創出が必要です。

まずは、子供たちの未来を明るく希望あるものにしていくために、仲間と手と手を取り合い、活発な行動や好奇心を刺激し自ら考え問題に立ち向かう多様な体験をすることで、体全体が刺激され達成感を味わい主体的行動力が身に付きます。そして、一人ひとりが交通事故への当事者意識をもち事故を少しでも減らすために、子供のみならず大人も交通事故に対し真剣に向き合い、譲り合う心と命の大切さを肌で感じ気づきを得ることで、感謝の気持ちと交通マナーが向上され交通安全意識が高まります。さらに、我々が時代の変化に柔軟に対応し、まちの未来をリードする人財となるために、地域により良い変化をもたらし、市民から関心を持たれるような組織を構築する方法を学ぶことで、まちや組織に貢献できるリーダーとしての能力が身に付き自己発展へ繋がります。また、我々が同じ目的に向かって一丸となり切磋琢磨し、地域にとって欠かすことのできない組織となるために、メンバー同士が顔を合わせ互いを尊重しながら、思い描いた未来を共有し様々な意見が飛び交う議論の場を設けることで、まちのために積極的に活動できる人財へと成長します。

ひととの関わりを深めた市民は、感謝と譲り合いの気持ちに溢れ自尊感情の高い人財へと成長し、その機会を与えた我々は、地域に変革をもたらす使命や責任感が芽生え、まちのために努力を惜しまず行動できる、リーダーシップをもった笑顔溢れる人財となります。

## <事業計画>

1. 心を育む「第47回ちびっ子広場」の開催
2. 交通ルールの再確認とマナーの向上
3. リーダー育成セミナーの開催
4. 共に高め合う討論会の開催